

研究者リーダーシップ・プログラム

「第1回 参加者による自己紹介とリーダーシップについて」参加レポート

研究者リーダーシップ・プログラムの第1回研修は、ジェンダー・リサーチ・ライブラリ2階のレクチャールームにて、対面形式で開催されました。

研修では、はじめに参加者一人ひとりが自己紹介を行い、本プログラムへの参加目的や、研究生活における課題について共有しました。参加者は異なる大学院に所属しているのですが、このプログラムを通じて、お互いの背景や価値観を理解する貴重な機会となったと感じました。

その後、名古屋大学前副総長の東村博子先生による講義を拝聴しました。東村先生は、ミジンコの無性繁殖という専門的な研究から、社会における男女共同参画や多様性の推進へと関心を広げられ、女性リーダーの育成にも長年取り組まれてきたご自身のキャリアを紹介してくださいました。このように、多岐にわたる分野でのご経験は、研究者としての関心を社会貢献へとつなげる可能性を示しており、大変刺激を受けました。講義では、多様性がもたらす社会の活性化についての理論とあわせて、具体的な事例を通じて、無意識のバイアスとは何か、そしてそれが私たちの日常生活に及ぼす影響についての説明がありました。これにより、日常生活の中で見過ごしがちな思い込みに気付くきっかけとなりました。

これまで、リーダーシップを発揮するには具体的にどのように行動すべきかについて、十分な知識を持っていませんでしたが、今回の研修を通して、単に人を率いるのではなく、「共に考え、支え合う」という姿勢が求められていることを再認識しました。

今後も、研究者リーダーシップ・プログラムを通じて、多様性への理解を深め、他者と協働しながらリーダーシップを発揮できる力を育んでいきたいと考えています。